



2019年5月27日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ー プ
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 時津孝康
(コード番号：6195 東証マザーズ・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 島 研 介
(TEL. 092-716-1404)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月27日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年8月9日に公表した当期の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年6月期通期業績予想の修正（2018年7月1日～2019年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,957	△32	△18	△31	△22.82
今回発表予想 (B)	3,800	55～70	65～80	45～65	32.28～46.63
増減額 (B-A)	843	87～102	83～98	76～96	
増減率 (%)	28.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年6月期)	2,269	△121	△114	△128	△92.14

2. 業績予想修正の理由

売上高は、前事業年度より開始した新規事業であるエネルギー事業の取引規模が計画に対して大きく拡大したことが影響し、3,800百万円と前回予想2,957百万円に比べ843百万円上回る見込みであります。

利益面に関しては、既存事業であるマーケティング&メディア事業におけるジチタイワークスの発行数増加、BtoG マーケティング等の高収益サービスの展開や、上記売上高増加の理由に加え、業務オペレーションにおける生産性向上施策が奏功したことによる固定費水準の低下等により、営業利益は55～70百万円と前回予想△32百万円に比べ87～102百万円、経常利益は65～80百万円と前回予想△18百万円に比べ83～98百万円、当期純利益は45～65百万円と前回予想△31百万円に比べ76～96百万円上回る見込みであります。

なお、エネルギー事業における売上原価の精緻な予想が困難なため、修正後の業績予想数値のうち、各段階利益及び1株当たり当期純利益についてはレンジによる開示と致しました。

(注) 上記の業績予想数値は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報を基に作成しておりますので、実際の業績については、今後の様々な要因により変動する可能性がございます。

以 上